



いじめ、私の目から見ると

いじめについてはいろんな意見があると思いますが、ご
を
目指す学生の各々の目からいじめについて意見を述べて
遠慮いただきました。本人の意をくみ取り、本人の言葉

こでは、生徒、いじめの被害に遭った子の親、教師、教師
いただきました。なお、取材に際しては実名等の公表はこ
に近い形で紹介します。

(プライバシー保護のため匿名で掲載)



教師を目指す
学生の目から

基本的に昔も今も子どもの本質は変わらない。ただ、
今の子どもはお互いに冷めているところがあるみたい
い。私たちの時代にもいじめはあったけど、今みたい
に周りが騒ぐことはなかった。教育実習へ行った小学
校では、いじめに遭いそうな子には、先生がその子の
いい所を見つけ、クラスメートの前でほめてやるなど、
子ども同士でお互いを認め合う環境づくりに努力して
いた。そこには、いじめの芽を早く摘み取る工夫がみ
られた。

教師になる理由は、いい先生に出会えたことが影響
しているみたいです。来年から教師になるけど、実際
に担任したクラスでいじめがあったとしたら怖いもの
がある。いじめを担任一人で解決するのではなく、学
校全体で取り組まなければならないと思います。教育実習をと
おして先生の仕事は忙しいという印象を受けたけど、
教師になったら子どもとふれあう時間を大切にしない
ければ。自分より弱い人間を見下さない子に、思いやり
のある子を育てていければと思う。

※3人に聞いて、意見をまとめました。3人の学生が所
属するゼミではいじめ問題も研究課題になっているそ
うです。



教師の目から

今の子どもの言動には、(悪意で)ドキッとさ
せられ、しつけの面から見て家庭の教育力は低下して
いる。

現在36名のクラスを担任しているが、教師が抱えて
いる児童の数が多いと思う。だから、本当に一人ひと
りの子どもに目が十分行き届いているかという確信
が持てない。教師は、教室以外にも学校の行事や課題
研究に追われ、子どもとふれあう時間が少なくなっ
ている。教師のゆとりやなさが子どもに伝わり、彼らに
イライラやあせりを生んでいる部分があり、子どもか
ら見れば先生として未熟である。

人には個性があり、どうしても好き嫌いが生まれて
くる。教室はそれぞれの環境で育った子が集まる場
であり、絶対にいじめが起きない環境とは言いきれない。
だからと言っていじめを容認するわけではない。教師
が子どもとじっくりふれあい、そこからお互いにゆと
りが生まれることで、いじめを小さい芽のうちに摘み
取っていけるのではないだろうか。また、いじめられ
た子と共にいじめた子へのアフターケアも必要であ
る。

いじめは、その原因や背景が
"これだ"といえるものがある
とは限らず、目に見えない糸が
複雑に絡まっていくケースもあ
ります。
いじめに對して、その対策を
立てることが大切ですが、目こ
ろから子どもと目線で見れる社
会や大人であることが、今求め
られているのではないでしょ
うか。"いつの時代でも子どもは
強い、夢見の力を持っている"。
子どもたちの未来のために、み
んなで顔を上げていじめを、そ
して子どもたちのことを考えて
いきましょう。



生徒の目から



[Aさん]

いじめは大きいものから小さいものまでいろいろあ
り、先生に言ったから解決するものでもないと思う。
いじめがあると、先生は私たち生徒を頼りにして、友
人同士で解決することを願っているところがある。い
じめられている子は、いじめられていることに傷つき、
いじめを真剣に考えるけど、いじている子はいじめ
を真剣に考えずに、そのためいじめはますますエスカ
レートする。いじめを絶対になくすということは難し
いと思う。もし、私がいじめに遭ったら友人に相談し、
それでも難しいようだったら先生に話します。親はい
じめをしていないか、いじめに遭っていないか聞くけ
ど、どちらでもないかと安心します。

[Bさん]

いじめがあったからといって、先生はなかなか行動
に移せなく、頼りにならない。確かにいじている人
は悪いけど、いじめられている子にもいじめられるだ
けの部分(原因)があると思うから、いじめはなくな
らない。いじめを見ても、グループ同士の力関係で
「いじめがあった」と言えないこともあります。私がい
じめに遭ったら、友人に相談します。親には話しま
せん。子どもには子どもにしか分からない世界がある
から。



いじめの被害に
遭った子の
親の目から

私の子どもへのいじめは小学校5年と6年のときにあ
りました。当時、クラスメートからあざができるくら
い蹴る、殴る、さらにはお金の強要と、そんなことが
原因で、息子は体調を崩し、学校を休みがちになりま
した。我が子がいじめられていると知り、私は学校に
働きかけて保護者会を開き、話し合いの中から解決の
糸口を見つけてきました。親子で泣き、いじめで受け
た子どもの肉体的・精神的苦痛を考えると、親として
我が子を守りたい一心で全てを投げ出して、いじめと
向かい合ってきました。

我が子のいじめを通して感じたこと。子どものしつ
けは親の務めで、親である以上はいじめをするような
子を育ててはいけません。人に迷惑をかけない、弱い
人の立場に立つといったことは基本的なこと。子ども
のわがままを許している自分を認めている親が多いの
でないか。本当の意味での親子関係がないと思う。

子どもは親を見て育ち、何かあると口では言えなく
ても、親にサインを出します。それを見逃さないこと
です。子どもがいじめに遭ったら、一人で悩まず相談
することです。

— お買物、ご用命は市内で —

忘・新年会は春雨で
飲み放題・おすすめコースもございます



新味
制菜
春雨

本町1(駅前) ☎22-1600(代)

お子様の“やる気”今こそ育てる時です!!
そろそろ入学準備始めましょう

「遊び」から「学習」へ子供達の能力が芽生える時
対 象/幼児、小・中・高生、社会人
教 科/算数・数学・英語・国語
学 習 日/月・本曜日 PM3:00~7:00

公文式さつき野教室 指導者 笹井久美子
〒956 新津市北上1-15-5 TEL・FAX 0250-23-3672

— お買物、ご用命は市内で —

忘・新年会予約受け承ります

鍋物各種 そば処 ますだや
釜揚げうどん
高田屋小路

☎
24-8595
24-6315
22-9348